

環境保全と安全対策について 教育施設の現状と今後について

吉野 高史 議員

質問 自然豊かな本市にあつて、赤羽地区の溶融スラッグの埋め立てに関して、一部の地権者が何を埋め立て、何に使われるのかわからない業者に土地を売却したと聞いており、その地権者に対して、あそこのあの爺さんが環境を無視した無責任な行為をしたなどと、子々

答 スラッグの性状等、県による製造元への報告の徴収や立入検査が実施されており、今後も引き続き県や関係各課と連携しながら安全確保に努めてまいります。

質問 沼地のような場所に

溶融スラッグを埋め立て、長期間水中のようなところにあるため、鉄鋼スラッグのような発がん性の強い六価クロム等の溶融はどうなのか。

答 JIS規格の品質設定あるいは現状の含有量データからも、長期的な安全性は確保されると考えます。

質問 埋立地に盛り土をしているが、一体何の目的のために、どんな工事をいつまで続けるのか。

答 第一期工事として、溶融スラッグ及び土砂による埋め立て及び盛り土工事を本年十月末まで、第二期工事は西側へ埋立区域の拡大を来年末まで計画し、盛り土は、その際の埋め立て資材に使用し、最終的な土地利用は、中古車販売のための展示場と聞いています。

質問 溶融スラッグの埋め立てに関して、近隣住民の心配や不安の解消に努めなければならぬが、どう考えているのか。

答 条例上、行政としては限られた指導しかできませんが、今後、少しでも赤字を減らすアイデアは。

質問 教育施設の収入に対し、経費等の支出は、文化会館で約5倍、芸術ホールでは約4倍、田山花袋記念文学館では約30倍、子ども科学館では約8倍となっているが、今後、少しでも赤字を減らすアイデアは。

答 インターネット等を用いて、新たな利用者獲得に向けた周知活動を進めます。

城沼の利活用と パークインの再開について

小林 信 議員

身近な城沼の利活用は

質問 校舎の老朽化等により、東毛林間学校が廃止することになりました。代替案が検討されているが、身近な自然である城沼を利活用できないかお尋ねします。

城沼では館林女子高が練習し、インターハイや国体で活躍しているほか、関東

ブロックのボート競技国体予選大会や全日本マスターズレガッタ大会が行われました。さらに、群馬県の拠点スポーツ施設の指定を受け、群馬県内で開催されるボート競技の関東大会や全国大会は館林市で開催することになっていることから、十分に活用することができ

るのではないのでしょうか。

また、城沼北岸のハスが古代ハスと同品種であると報道され、自然学習の場としての活用が望まれるが、どのように考えていますか。

城沼周辺での自然学習

答 カッター訓練を行うには、城沼は水深が浅くやや難しいと思われます。城沼を利活用する今後の取り組みは、館林市からアトラクタオリニピックで活躍した赤城選手や世界ジュニア選手権で活躍した栗原選手、瀧本選手などを輩出しておりますことから、小中学生対象のボート教室の開催など、将来の選手育成を図ることができると考えます。

また、城沼周辺での自然学習は、館林市の良さを感ずることができると考えます。

新たな利用客の増加

質問 パークインは観光施設として継続していくとの結論に達したということですが、魅力ある施設にしていかなければなりません。

せん。ボイラーの老朽化等が挙げられておりますが、太陽光を活用してお湯を沸かし、足湯やサウナを設けることにより、新たな利用客を増やすことができるのではないのでしょうか。

今後魅力ある要素を

答 今後、意見交換会などでご意見をいただきながら、メリット、デメリットを精査し、魅力ある要素をどうするかを含め、取り入れられるものは取り入れていきたいと思います。